



活動場所	①フォーラム南太田
活動日時	①毎週木曜 午後7時～午後8時半
代表者	仁木 美登里
e-mail	kamome.syuwa@gmail.com
URL	http://blog.livedoor.jp/kamome_shuwa/
ボランティア人数	28名
活動対象地域	主として横浜市南区

活動目的・モットー

昭和49年に南区で行われた手話講習会を母体とし、手話サークルかもめができました。サークルでは手話技術だけにこだわることなく、ろう者・難聴者等とのコミュニケーションを考え、お互いに協力・理解しあって活動することをモットーとしています。手話に学びながら、手話も学ぶサークルです。

活動内容・活動暦

昭和49年に南区で開催された手話講習会が母体となり、講習会だけで終わってしまうことなく、手話の学習と地域の聴覚障害者との交流をはかり、手話の普及と聴覚障害者の理解を広げるために作られたサークルです。

現在は、月4回の定例会を開催し、手話の学習やろう者や難聴者理解のための学習会、講演会等を行い地域のろう者や難聴者とともに手話を共通語に活動しています。SNSでの情報発信も行いつつ、コロナ禍では会議アプリを活用しての定例会も開催しました。

【過去の講演会実績】

2025年度：戸田康之氏、大草達司氏、長田幸治氏

2024年度：森田明氏、大島智美氏、信田光宣氏

2023年度：善岡修氏、松崎丈氏

2022年度：城戸敏寛氏、渡邊伸司氏

2019年度：秋山なみ氏、田中清氏、佐沢静枝氏他

2018年度：森壮也氏、秋山なみ氏、金子真美氏他

2017年度：那須英彰氏

2016年度：モンキー高野氏、小西雅子氏（気象予報士・ろう通訳付き講演）

利用者の声

- ・アットホームで和気藹々としていて楽しいサークルです。
- ・手話の技術だけではなく、ろう者の歴史や運動についても学べる。

活動についてのQ&A（ボランティアメンバーの声）

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは？いつ頃から？

A. ・ドラマの影響（星の金貨、愛していると言っ てくれなど）

Q.活動をしているメンバーはどんな方達？

A. 小学生から70歳代の方まで様々です。年齢も職業も性別も違うけど一緒に活動できるのが楽しい。

Q. 活動を行う中で大変だと思うことは？楽しいと感じることは？

A. ・雨のときや雪のときは休みたくなる。
・手話が通じたとき！相手の手話が読めた

Q.活動をする中で気づいたことは？

A. 聞こえないことは時々は不便だけど「不幸」じゃないこと。
手話が上手な人たちばかりのなかでは、手話ができない人の方がかわいそうになる。

ある日のグループ活動

◎字幕メガネ(スマートグラス)体験会

ろう者や難聴者の中には映画は好きだけれど、日本の映画(邦画)は字幕がないので見たことがないという方が多くいます。それを受けて、みんなで一緒に映画を楽しむために近年では字幕が出るメガネがあるというので、サークルで体験会を開催しました。

スクリーンには字幕がでないけれど、このメガネをつかうと字幕が見られます。映画館で貸し出ししているところもあるので、サークルでの体験邦画を楽しんだ難聴者や、聞こえるけれど試しに借りに行ったという、大学生もいました。



◎サークルのクイズ大会

(第一問)

はまデフ(横聴協)の正式名称は公益財団法人横浜市聴覚障害者協会である。○か×か？

→答えはもちろん×。一般社団法人が正しいです。

ろう者が手話で出題します。でも一度じゃ読めない人もいるので、何度か繰り返し表現してもらって、最後に誰かが声を出して読み取りました。

(第二問)

神奈川県には、聾学校が3校ある。○か×？

→答えは×。川崎、横浜、平塚、横須賀で4校。

横浜校、川崎校、横須賀校は各市立。平塚校だけ県立。

ろう学校ではないが県立相模原中央支援学校には「聴覚部門」があり、ろう児や難聴児の受入がある。

復習を兼ねた問題から、障害者手帳の等級問題までいろいろでした。

ボランティア活動と一緒にやってみたい。どうすればいい？

活動条件は特にありません。

基本的には毎週木曜午後7時～8時半の定例会に参加できる方が対象です。

会費は1年間で4000円。随時入会受付です。

年度途中で入会された方は月500円として、会費をいただいています。

手話学習の経験がなくても、地域のろう者や難聴者との交流を通じて手話を学びたいという方、

サークル活動に積極的な方お待ちしております。

サークルの見学は2回まで可能ですので、ぜひ見学へお越しください。



創立50周年記念クッキー



講演会・BBQ・いちご狩り、南なんデーなど交流行事

